

# スマイルタイムズ

No. 205

学習

## 卵子提供

インターネットで調べるとアメリカやタイなどで卵子提供を受けられるという広告(宣伝)が目白押しに掲載されています。

いわく、「卵子提供のご案内」「卵子提供の総合サポート」「卵子提供のプログラム」「卵子提供を格安でご提供」(タイ)など。

タイの広告は面白いですね。“アメリカに比べ、運賃、滞在、医療費が大幅安。リゾート地で観光と合わせて快適に日々を過ごしていただけます。”

女性の晩婚化の風潮の中で、よその人から卵子提供を得て、不妊治療をする方法に注目が集まっています。

卵子提供をめぐる日本国内のガイドラインは2003年に結成された「日本生殖補助医療標準化機関」(Japanese Institution for Standardizing Assisted Reproductive Technology=JISART)が2008年になって策定したもの(A4で43ページ)だけ。これとて民間不妊治療施設の団体で、厚生労働省や日本産科婦人科学会が公式な評価を出さない中、このガイドラインが生まれたのです。このガイドに基づく実施は昨年中で25件程に留まっています。全例が家族や知人からの卵子提供によるもので、赤の他人からのものはないようです。

98年、「諏訪マタニティクリニック」の根津八紘医師が家族提供による卵子での不妊治療を自己判断で行ったということでマスコミが問題にしたことがありました。これを機に厚生省(現厚生労働省)が議論を開始、03年、公的な指定を受けた医療機関でのみ実施を認めるに至りましたが、これとて、家族や知人でない匿名の第三者からだけの提供とすること、など条件がきびしかったので関係者が反発、そのまま法整備は本格化しないまま今に至っています。

先のアメリカやタイなどは卵子提供者への報酬が認められているので、医療機関が責任を持って出自を把握、怪しげなのは提供されない仕組みになっています。しかし、提供者への報酬が高額になったり、安全面や心理面の課題が残ります。

そうこうしている今年になって、不妊治療専門医や卵巣機能が低下する患者の関係者らでつくる民間団体「卵子提供登録支援団体」(事務局・神戸市)が1月14日、早発閉経等で卵子がない患者さんへ、卵子の提供を募る「卵子バンク」を目指す事業を始めました。

匿名で無償のボランティアを登録し、医学的な条件が合った患者さんへのみ提供するといった主旨によるバンクです。

海外における承認された国での、日本人女性から卵子を提供してもらおう団体はありますが、日本国内での提供を目指す団体

はこれが初めてとされています。

高齢での妊娠を希望する女性は対象外としています。卵子提供者の安全性確保や生まれる子どもの法的な地位や権利、提供者との関係など、未知のことがらを多く含んでいるようです。

募集する卵子提供者は子どもがいて、原則35歳未満の女性で、配偶者の同意を必要としています。検査費や交通費、副作用が起きた場合は患者側の負担とする、と言うようなルールは作られています。民間団体の枠組みによって、親子関係に関わることを進めて大丈夫なのか、が大きな問題のようです。

当紙、200号(昨年、11月27日発行)と203号(本年2月22日発行)の「出生前診断」については院長が「このことについては早く法整備をしなければならない。」と書いたように、この卵子提供についても同じことが言えるようです。

## 免疫について

ヒトの免疫には主として2種類があります。その一つはこれまでその人の体内に入ったことがない新しい細菌やウイルス(=病原体)に対して反応するもので「自然免疫」と呼ばれるもの。もう一つは過去に出あったことがある病原体に対して反応するもので「獲得免疫」と呼ばれるものです。

例えば外国で発生した鳥インフルエンザの病原がヒトの間で広がり、パンデミック(世界流行)になった場合、日本人は誰も過去にそのウイルスには感染していないのですから、何百万人も死亡するかもしれませんが、全滅することはない、多くは生き残ります。この時に活躍するのが「自然免疫」で、白血球の働きに依る素晴らしい自然の摂理です。

近年日本人の死亡原因で、今まで4位以下だった肺炎が3位になりました。理由は免疫力が衰えてきた高齢者が増え、何の病気になっても最後はこの肺に巣くった病原菌がやっつけられないからです。

4月20日の新聞は、日本の「国立感染症研究所」が19日、“中国で感染者が相次ぐ鳥インフルエンザウイルス(H7N9型)がヒトへの適応性を高めており、パンデミックを起こす可能性が否定できない”とリスク評価を公表したと報じました。関心を持って見守りましょう。

〈あ と が き〉 1) 当院ミニギャラリー(総合待合室)は目下**山本美代子さん**(若狭町小原)の押し花です。4月からは各押し花の額縁の間に俳句の短冊を挟みました。花の造形と俳句とによるマッチングをお楽しみください。2) このところ4月中旬は暑かったのに19日からはえらく寒くなりました。気候(気温)の変化の大きい季節です。衣服の調節などにお気を付け下さい。